

論文集編集委員会

委員長	内村太郎 (東京大学)	委員	橋 伸也 (神戸大学)
顧問	落合英俊 (九州大学名誉教授)	委員	中村 努 (苫小牧高等工業専門学校)
委員	明永卓也 (三菱樹脂ｲﾝﾌﾗﾃｯｸ(株))	委員	西形達明 (関西大学)
委員	金子賢治 (八戸工業大学)	委員	平川大貴 (中央大学)
委員	河端俊典 (神戸大学)	委員	峯岸邦夫 (日本大学)
委員	熊谷浩二 (八戸工業大学)	委員	安福規之 (九州大学)
委員	小島謙一 ((財)鉄道総合技術研究所)	委員	辻慎一郎 (前田工織(株))
委員	小竹 望 (香川高等専門学校)		

ジオシンセティックス論文集投稿要綱

1. **投稿者**：国際ジオシンセティックス学会（以下 IGS という）日本支部または関連学会*会員。ただし、連名のときは一名以上が上記の条件を満たしていることが必要である。

*：地盤工学会，繊維学会

2. **原稿提出先**：IGS 日本支部論文集編集委員会（以下委員会という）。

3. **原稿提出時期**：原則年 1 回とし、別途委員会において決定し、ジオシンセティックス技術情報等の誌上において告知する。

4. 論文の投稿区分

次の論文の投稿区分を設ける。

1) 研究開発論文：

新規性、独創性がある独立した研究、技術開発を取りまとめたもの。

2) 事例報告：

新技術の適用や、困難な条件での施工、材料の開発、調査結果など、技術的な価値のある事例の報告。

5. 論文審査のプロセス

論文審査は次のプロセスで行う。

1) 論文の投稿を希望するものは、論文執筆要綱に従って投稿論文を作成し、委員会の指定した期日までに、希望する投稿区分を明記した論文提出票とともに、提出する。

2) 投稿論文の審査は、委員会の依頼する複数の査読者による査読意見に基づいて行われ、掲載の可否を判断する。

3) 委員会は、投稿論文の審査結果を執筆者に伝え、掲載可と判定された論文に対し査読意見に対する回答を踏まえた原稿の提出を促す。

4) 委員会が査読結果と最終原稿の内容を総合的に判断して最終的な掲載の可否を決定する。

6. 投稿論文の審査

1) 査読の目的：投稿論文が、①ジオシンセティックスに関連した内容を扱っているか。②タイトルは適切か。③宣伝に偏っていないか。④本論文集の趣旨に即しているか。⑤独創性、論理性、図表の見易さ等、本論文集に掲載される論文としてふさわしいものであるかどうかを判定する。

2) 査読：査読は、原則として委員会の依頼する 2 名以上の査読者が行う。最終的な掲載可否の判定は、委員会において、別途定められた各審査項目について査読者の判断、意見をまとめ、全項目にわたる判断を統合して行う。論文の内容によっては投稿区分の変更を著者に勧め、また、掲載の条件とすることができる。

7. 投稿論文の知的財産権

1) 論文集に掲載された個々の著作物の著作権は著作者に属する。ただし、当該著作者は、国際ジオシンセティックス学会日本支部に対し、あらゆる利用行為を許諾する。ただし、当該著作者が自らこれを利用することは妨げない。

2) 前項の許諾は、投稿が受理された時点で行われたものとし、不採用とされた場合は、その決定の時点で撤回されたものとする。

3) 投稿論文中における既存の著作物の利用（引用・転載等）に関し権利者との間に生じた紛争については、著作者（投稿者）がその任に当たる。

平成 24 年 3 月 26 日制定